

---

# 空に咲く花

おとりんご

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

空に咲く花

### 【Nコード】

N2141E

### 【作者名】

おとりんじ

### 【あらすじ】

いつも心の片隅にあったもの。生きるのは不安とか絶望の繰り返しだと。どうか見捨てないで。

暗い暗い闇の中に  
咲く花を見た

それは悲しみも  
絶望も背負ったように  
小さくなつて消えた

この世界の中で  
こんな風に花を見て

胸に  
強い憧れを  
目に  
一筋の涙を

宿してくれる人が  
居るだろうか？

光は私の胸の中に。

うさぎの眼

青い目をした月を見た

その目は

夜の雨に濡れていた

こんな真っ暗な空にさえ

君は光を求めて  
空と同じように  
泣いていた

そんな君が愛しくて

黒に塗り潰された  
空にも嫉妬した

光ならばここに  
ある筈だろう？

林檎の木 傍にあったものは  
いつもいつも  
足跡に汚れていた

強く 強く

そう望んだのは  
いつの日か

伸ばした手の  
指先も見えないほど

視界は狭くて  
手を振る程苦しくなった

林檎の木に  
実のなる日までは  
傍にあるものにまた  
足跡を残そう

道の続き

そうだな…

この話に続きが

あるとするなら

喜びとは少し違っただろう

長い道にも

終わりがあるし

君の悲しみにだって

終わりがあるだろう

けれど

君は嘆く

私には未来が見えない

そんなもの

僕にも見える筈ない

それでも

僕らが生きているのは

喜びが見えるから

そうだろうか？

幸せには少し足りない

悲しみでは余りすぎる

そんな日に生まれたから

僕ら生きているんだ

この詩を

君に届けよう

小さな恋が芽生くとき

どうか

君に幸せが訪れますように

嘲りと希望の

交差した街の片隅に

君の声が響いた

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2141e/>

---

空に咲く花

2010年12月30日03時03分発行